

## メモリアル大学（カナダ）

10月はハロウィン関連のイベントが多くありました。学校内外の様々な場所でハロウィンの装飾がされていたりパーティー、フェスティバルが開催されたりしており、私はその中で寮でのパンプキンカービングやパンプキンウォークという街全体での大規模なイベントなどいくつか参加しました。多くの人が集まるイベントはこちらに来てからあまりなかったこともあり、非日常的な空間が味わえてとてもよい思い出になりました。

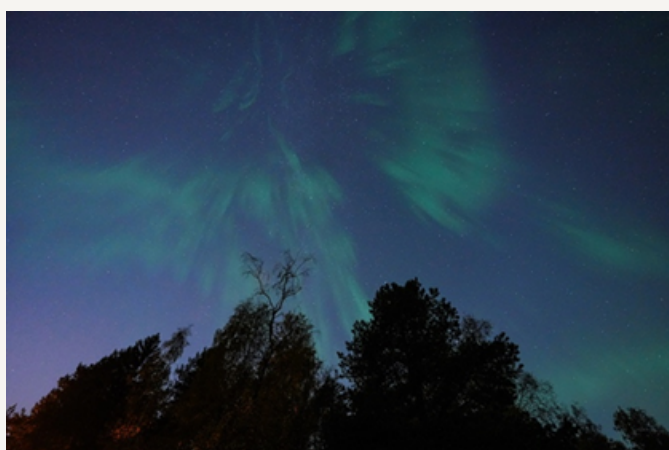
また、インターナショナルオフィスの企画でサルモニア国立公園へのハイキングがありそれにも参加しました。バスで1時間程度のところで、様々な動物や植物などを見ることができ、自然も豊かでとてもいい経験になりました。ほかの留学生とも交流することができたので今後インターナショナルオフィスが行っている企画にも積極的に参加していこうと思います。

また個人的にはシグナルヒルという史跡を訪れたのが印象に残っています。セントジョンズでも有名な観光スポットの一つということで、ダウンタウンや大西洋が一望でき景色がとても良く、タイタニック号の事故の際に無線を受け取った実際の場所など歴史的な価値のある施設も訪れることができとても興味深かったです。ほかにはジョンソンジオセンターやダウンタウンの様々なショップやレストランなども訪れることができ、忙しい中でしたが休日も活動的に過ごすことができたと思います。

## オウル大学（フィンランド）

留学が始まって2ヶ月が経ち、大分フィンランドの生活に慣れてきました。早くも秋に突入し、非常に寒いです。気温も寒い時には0度近くになりまるで冬のように感じます。昨年は9月時点で雪が降ったようですが、10月になっても全く降らずに過ごしましたが、心なしか9月よりも雨の日が多く、どんよりした天気が続いていました。

その一方で雲の少ない日にはオーロラを見られることも多く交換留学生の間でも国籍問わずみんな情報交換して、見られる日にはみんなパジャマで（寒すぎるのでちゃんと防寒具は着ています）外に出ておしゃべりしながらゆっくりと形を変えていくオーロラを眺めました。基本的に空気が澄んでいて緯度も高く寒いので同時に満点の星空も見ることができ、なんとも贅沢で満たされる気持ちになります。



## ウィーン大学（オーストリア）

### <学習状況について>

ドイツ語学習のために日常的にドイツ語のラジオや雑誌を使って生活することが助けになりました。大学の講義に使われる水準の語学力に達するのは簡単ではないと思いますが、ウィーンで勉強している数多くの留学生の勉強への助言に支えられて勉強しています。日本語を勉強する学生との交流も学習の支えになっています。会話や聞き取りは比較的日常で訓練しやすいですが、文章を書くことが少なくなってしまう傾向があり、生活の中で書く習慣を身に着けたいと思っています。

大学の講義は一つを除き英語で行われているため、語学面での困難は思っていたより少ないですが、日本で勉強したことのない分野については必読の論文を読むのも難しいです。しかし授業中に学生から飛び交う様々な視点の質問や議論はとても面白く、私も積極的に授業に参加し、多くのことを学びたいと思います。

### <生活面について>

10月には滞在許可証(Aufenthaltsbewilligung Student)を受け取ることが出来ました。心配していた滞在許可証の取得は書類を集める作業が大変でしたが、日本で部分的に申請しておいてよかったですと思っています。現地ではMA35という部署に行き申請するため、多くの方がドイツ語を話せる友人の助けを借りて作業を行っています。

オーストリアについてから友人や知り合いを増やすために積極的にいろいろな場所を訪ねてきました。親しい友人をつくるのは時間が必要でしたが、いまでは趣味を共有する人たちと時間を過ごすことができおり、これからももっといろいろな人に知り合いたいと思っています。

## 仁川大学校（韓国）

10月の中でもビッグイベントと言えば、留学生活ではじめて迎えるテスト期間でした。私が日本で受けていた授業はほとんどがレポートによる成績評価で、期末のみ実施の形式が多かったのですが、韓国では、基本的にすべての授業で中間・期末試験が実施されます。韓国語の授業はペーパーテストだったのですが、私はペーパーテストを教室の中で受けるのがとても久しぶりだったので、緊張しました。テスト内容は選択問題と作文形式だったのですが、教科書とは別で購入するワークブックがあり、ほとんどがそこから出題され、一度は見たことがある問題ばかりだったので、特に日本人の留学生にとっては、難易度が低めのテストだったと思います。

私は、寮でルームメイトと生活しているので、韓国人の学生のテスト期間の様子を伺うことができたのですが、テスト期間の2週間前くらいから準備をはじめ、テスト期間になると、寮の施錠時間の2時ギリギリまで図書館で勉強して、部屋に戻り、また、朝早くに起き勉強しているという感じでした。韓国では、相対評価で成績が決まるらしく、他の生徒よりも良い点数を取らないと、良い成績がもらえないため、日本の学生よりも一生懸命勉強する学生が多い印象を受けました。また、ペーパーテストだけでなく、個人発表やグループ発表をおこなう授業も多いらしく、その点もまた日本の大学とは違った特徴だと思いました。